

位置図



事業概要

事業期間	平成22年度～平成23年度
総事業費	30,000千円
工事延長	延長 L=450.6m
事業内容	沼板柵工 L= 71.6m
	コンクリートブロック他 L=243.5m
	河床コンクリート打設工 L= 17.2m
	コンクリートB型柵渠 L=90.1m
	自然石空積み張工L=28.2m

事業経緯

- 柿沼堀支線用水路水辺再生検討会
- ・第1回 (H22.7.16)
 - ・第2回 (H22.9.2)
 - ・第3回 (H23.3.15)

測量・設計 (H22.8～H23.3)

工事 (H23.10～H25.1)

【検討会メンバー】

柿沼用水を守る会、柿沼自治会、大里用水土地改良区、熊谷市、県



【地域活動】

- ・地元用水維持管理組合、自治会及び柿沼用水を守る会が毎年4月中旬に水路清掃活動実施

整備の状況



※水路の法面が崩れている (H23.2撮影)

事業概要

整備テーマ ポイント

施設管理を通じて、地域社会の力を復活をさせるべくキッカケとなる場の創出

- ポイント①：地域住民が親しめる水環境を復活させる
- ポイント②：地域を特徴付ける“生き物”を保全し続け易い環境をつくる
- ポイント③：農業用水を安全に効率良く供給する環境をつくる

平面図

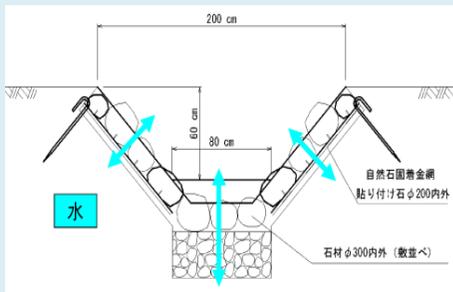


【 機能優先ゾーン 】

土水路で護岸が崩壊し、管理に苦慮しています。
安全に効率良く下流まで導水ができるように整備を行います。

【 地域自慢ゾーン 】

地域で大切に保全しているハンゲシウやアジサイが多く生育しています。これらが生育し易いように、水が水路内外に行き来できる整備をします。また、憩いの場としての小広場や渡り橋、水路に安全に降りれるよう階段を設けます。



★：ビューポイント

★：小広場

★：階段

★：渡り橋

【 沼ゾーン 】

昔は泳げたと懐かしまれる沼。地域のシンボルです。親しみが復活するように板柵で囲い景観や親水に配慮した整備を行います。また、水生生物に配慮し、水位調整機能を設けます。

【 景観向上ゾーン 】

珍しい黄色いショウブが生息しています。用地に余裕があることから、地域の活性化に繋がる活動空間としての利用を期待した整備を行います。植栽等の活動で景観の向上が望めます。